特定保守製品

※法定点検が必要な製品です。

MITSUBISHI
三菱食器洗い乾燥機

形名

EW-BP45B　EW-BP45S
EW-BP45SM
EW-CP45B　EW-CP45S
EW-CP45SM

据付説明書

＜特定保守製品に関するお願い＞

■本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
■特定保守製品とは、経年劣化により家屋・身体に危害をおよぼすおそれがあるため、所有者は点検期間に点検を行う（有償の法定点検）などの保守を行うことが求められている製品です。
■消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、製品の製造・輸入事業者（特定製造事業者等）に対し、所有者情報を提供する責務（消安法第32条の8第1項）が定められています。

＜販売事業者様へ＞

■付属の取扱説明書と所有者票（本体に貼り付け）は、所有者（消費者、賃貸業者）に必ずお渡しください。
■所有者（消費者、賃貸業者）へ所有者票に記載の法定説明事項をご説明いただく義務（消安法第32条の5第1項）と、所有者登録にご協力いただく責務（消安法第32条の8第3項）が定められていますので、ご協力をお願い致します。

＜据付をされる方へのお願い＞

● 特定保守製品を設置する際に、所有者に対して、点検期間中に点検を行うことが必要であるとともに、特定製造事業者等に所有者情報の提供(登録・変更)をしているか、登録や変更がなされていないようであれば、その必要性をお伝え下さい(特に、引越に伴う移設やリフォーム工事の際)。
● この製品は、(財)電気安全環境研究所(JET)より『給水装置の構造および材質の基準(厚労省令)』に適合するとの証明を受けています。給水装置への接合に際し、逆止弁等の設置の必要はありません。なお、JETは、厚労省の「給水装置に係る第三者認証機関の業務等の指針」に示された要件を備えた第三者機関のひとつであり、他に(社)日本水道協会等があります。
● 給水装置工事(配管工事)は、各市町村にて施工承認を受けた後、指定工事業者が施工してください。
● 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。（不具合が発生した場合、無償保証できません。）
● 製品の機能が充分発揮されるように、この据付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
● 据付終了後、直ちに14・15ページの試運転と16ページのチェックに基づいて必ず再確認を行ってください。
● 据付に関して不明な点がありましたら当社へご相談ください。

● この説明書は据付終了後、お客様へ必ずお渡しください。

安全のため必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告・注意事項



禁止事項



指示を守る

ZT790Z003H05

警告


分解禁止

分解したり修理・改造しないでください。

発火したり異常動作してけがをすることがあります。

- 修理は販売店へご相談ください。


火気禁止

火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの引火物を近づけない。

- 変形・火災の原因になります。


水かけ禁止

水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショート･感電の恐れがあります。



電源プラグは刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。

- 火災の原因になります。


禁止

電源コード･電源プラグを破損するようなことはしないでください。

（傷つけたり、加工したり、熱機具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重いものを載せたり、束ねたりしないでください。）

傷んだまま使用すると、感電･ショート･火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。



電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだプラグは使用しないでください。


ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。

感電の原因になります。



アースを確実に取り付けてください。

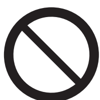
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

- アース工事は必ず販売店にご依頼ください。



定格15A以上･交流100Vのコンセントを単独で使ってください。

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

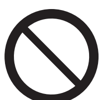

禁止

コンセントの差し込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。

感電･ショート･発火の原因になります。

- 販売店に点検・修理を依頼してください。

注意


禁止

凍結の恐れがある場所（室温0℃以下）へは設置しない。

水漏れの原因になります。



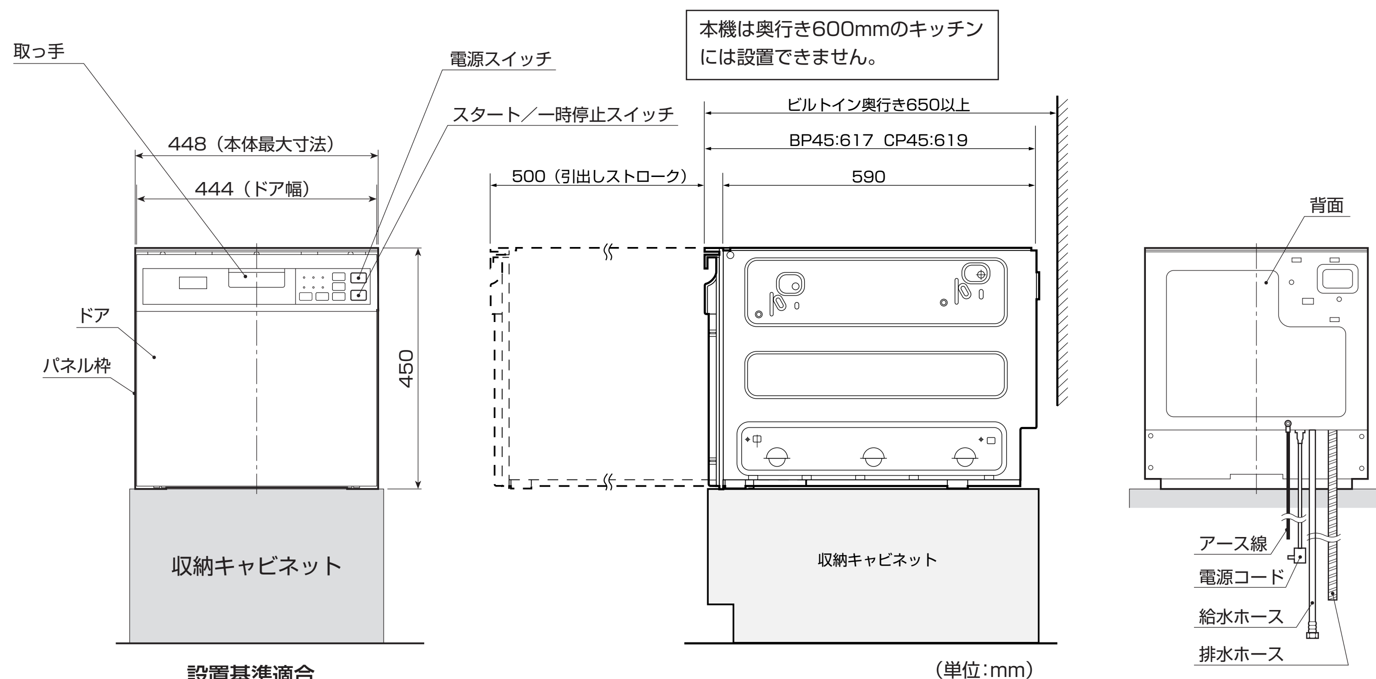
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。

感電やショートして発火することがあります。

1 各部の名称と寸法

● 本体および、かごのテープやダンボールなどは全部取り外してください。

※ 本説明書は下図に示す収納キャビネットが事前に設置されていることを前提にしております。



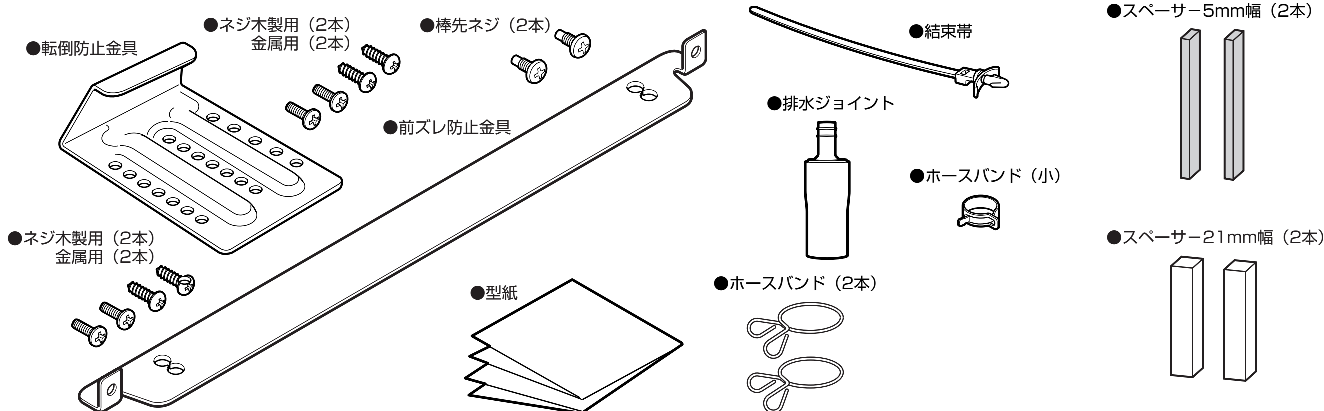
設置基準適合

（離隔距離については、0cmで消防法の基準に適合しております。）

※正面図はBP45です。正面寸法はCP45も同様です。

付属品の確認

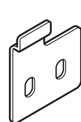
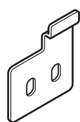
据付に必要な付属品



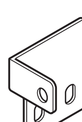
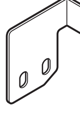
面材用付属品

EW-BP45SM・EW-CP45SM

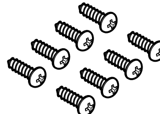
●上取り付け金具　左・右

●下取り付け金具　左・右

●木製用ネジ(8本)



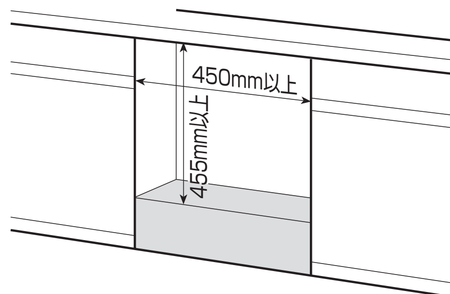
●ネジ金属用(2本)



2 設置場所について

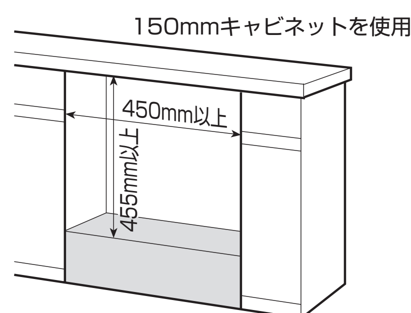
● キャビネットが必ず水平であることを確認してください。

中間にビルトインする場合



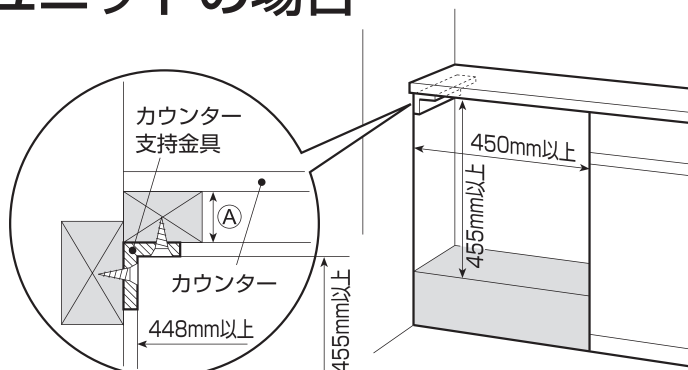
片側がフリーの場合

● 片側がフリーの場合、幅150mmキャビネット等を使用して、カウンターを支える処理をします。



片側が壁面または、トールユニットの場合

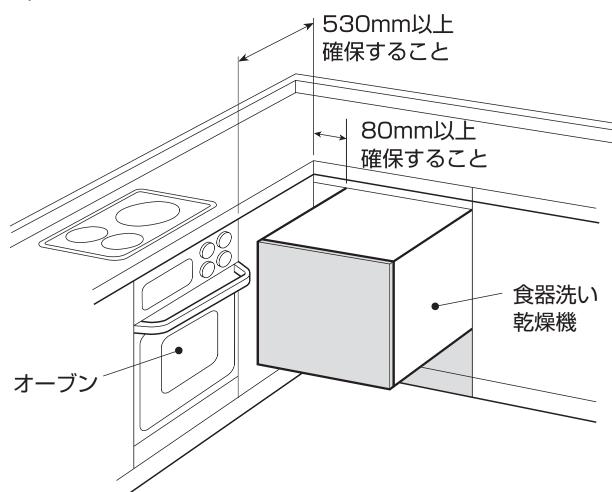
● カウンター支持金具は市販のL金具を使用します。
※ 締結ビスの長さは、右図のA寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。電気設備技術基準167条により義務づけられています。



● ビルトイン型加熱機器等と並べて設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、たわむことがありますので、補強処置をしてください。（市販のL金具を使用します。）

お願い

● L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオーブン等の取っ手部に当たり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。
※ 本機及びキッチンの金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板に、電気的に接触しないようにしてください。電気設備の技術基準167条により義務づけられています。



3 給・排水工事について

■ 本機が使用できる水道水圧は0.03～1MPa{0.3～10kgf/cm^2}の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので0.6MPa{6kgf/cm^2}を超える場合は減圧弁を取り付けてください。

■ 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。（不具合が発生した場合、無償保証できません。）

⚠ 注意

高水圧地域では減圧弁を必ず取り付けてください。

水漏れの原因になります。

■ 本機は（財）電気安全環境研究会（JET）より「給水装置の構造及び材質の基準（厚労省令）」に適合するとの証明を受けています。このため、給水装置への接合に際し逆止弁等の設置は必要ありません。各市町村の条例等により逆止弁を取り付ける場合で、本機の配管の近傍にシングルレバー水栓がある場合は、以下の対応のいずれかを実施してください。

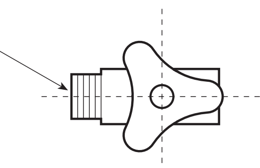
・ シングルレバー水栓の配管に減圧弁か、ウォーターハンマー防止器を取り付ける
・ 本機の配管に減圧弁を取り付ける。（水栓の急閉止時のウォーターハンマー現象により逆止弁の下流側の本機や本機の配管に異常な高水圧がかかり、本機の故障や水漏れの原因となるためです。）

■ 本機は配管直結タイプですので設計及び施工工事の段階で給・排水の位置決めを正確にしてください。

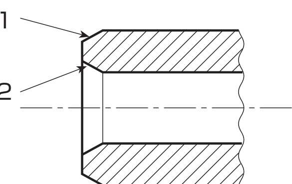
・ 給湯（給水）管は硬質塩化ビニルライニング鋼管（相当品）を使用して、断熱材を巻いてください。
・ 排水横枝管に至るまでの接続部分は耐熱塩化ビニル管（HT相当品）を使用してください。
・ 配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
・ 給・排水配管の端面はバリの無いよう処理し、かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除いてください。

・ 止水栓（ドライバー用、固定ゴマタイプ）を必ず取り付けてください。（止水栓は閉じた状態で、出口は床面と平行に）

※冬季長期間留守にし、凍結が心配される地域に設置される場合は水抜き栓を有した寒冷地仕様の止水栓を取り付けてください。



・ 排水管HT20の端面内周に、面取り（C1～2）を施してください。外径外面側は面取り（C0.5～1）をつけるとホースの挿入が容易になります。



給湯機について

■ 給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯機、10号以上の先止め式給湯機等で60℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。

調整不可能な給湯機の場合は、ミキシングバルブの接続をおすすめします。

■ 小型深夜電力利用温水器には接続しないでください。本機へ給水されない恐れがあります。

⚠ 注意

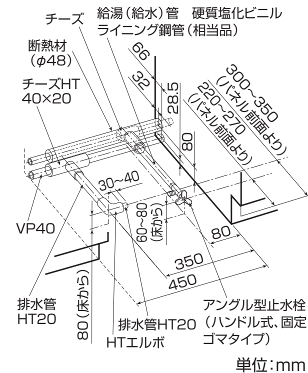
元止め式湯沸し器には接続しないでください。


禁止

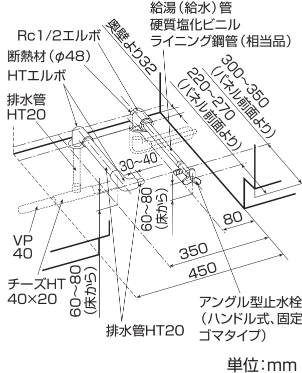
湯沸し器からの水漏れの恐れがあります。

配管例 ● 下記配管例以外の施工をする場合はホーム機器にご相談ください。

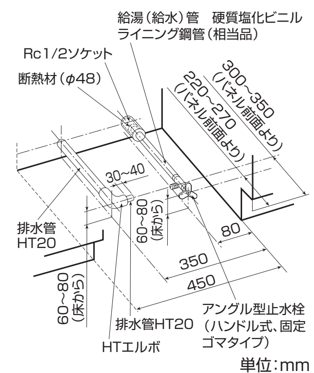
床ころがしの場合



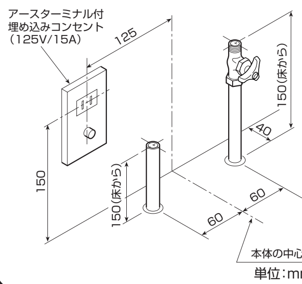
床立上げの場合



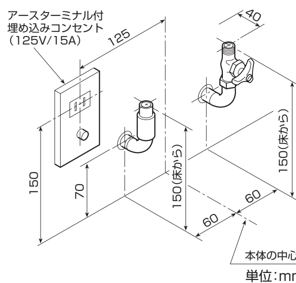
壁出しの場合



床立上げの場合

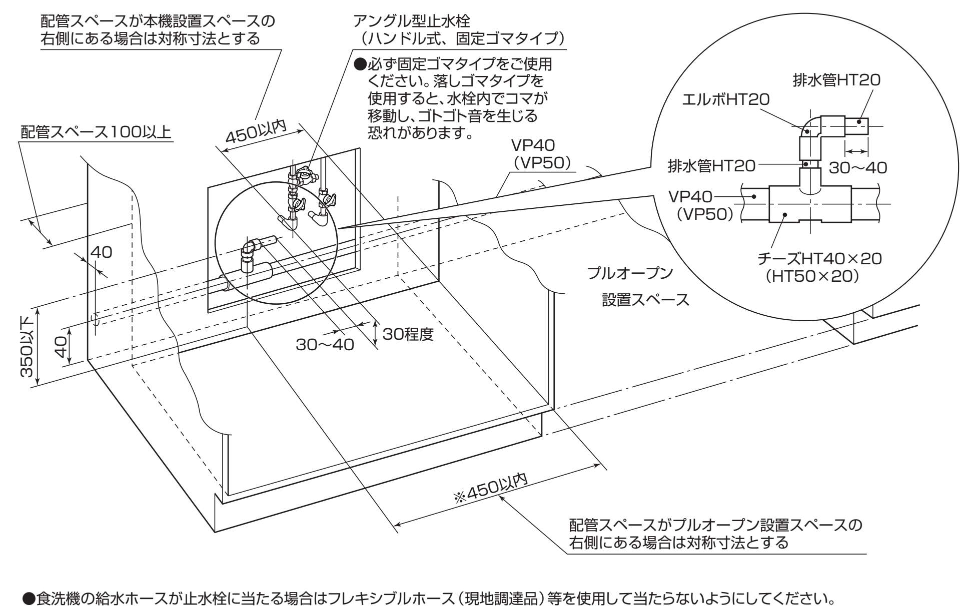


壁出しの場合



床ころがしの場合

※集合住宅などに多いタイプです。
近接するシンクキャビネット背面に点検口を有する配管スペースがある場合



●食洗機の給水ホースが止水栓に当たる場合はフレキシブルホース（現地調達品）等を使用して当たらないようにしてください。

給・排水管の施工位置について

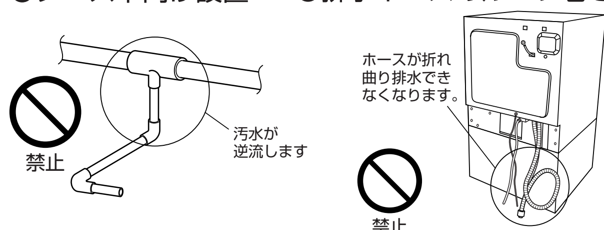
収納キャビネットの種類（ケコミ部まで引き出しがあるもの）によっては、給・排水管の位置は本機の据付説明書のものと異なる場合があります。

※ 必ず収納キャビネット側のカタログまたは施工図面、設置説明書などに基づいて施工願います。

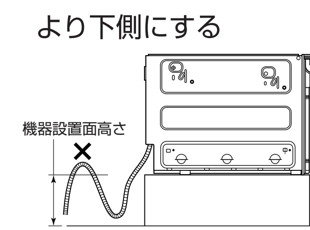
悪い排水配管例や接続例

下図のような配管及び接続をすると、充分に排水できなかったり、機器に逆流する恐れがありますので、絶対しないでください。

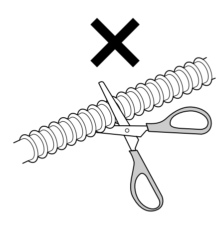
●チーズ下向け設置　●排水ホースのループ巻き接続



●排水ホースは機器設置面より下側にする



●排水ホースは切断しない



集合住宅などで清掃を行う場合、キッチンの高圧洗浄は行わない。

4 電気工事について

電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が行ってください。

- 電源回路は100V、15A以上の専用回路が必要です。
- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水管工事部分を避けた図の位置に埋め込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を接続します。
- コンセントは定格表示125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントを使用してください。（コンセントは壁面に必ず固定します。）
- アース工事を必ず行なってください。（アースは法令上必要です。）

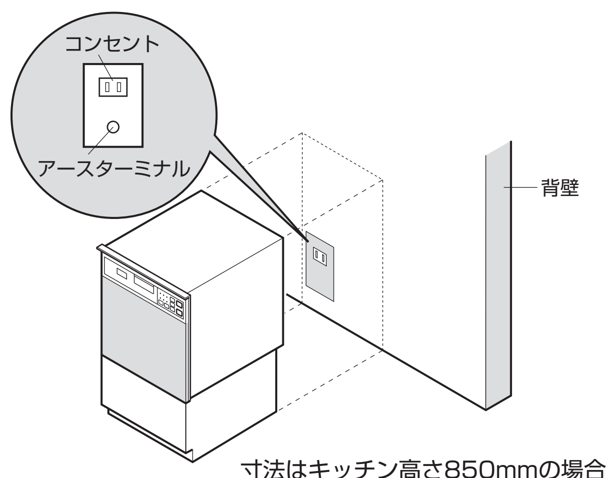


定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使ってください。



他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

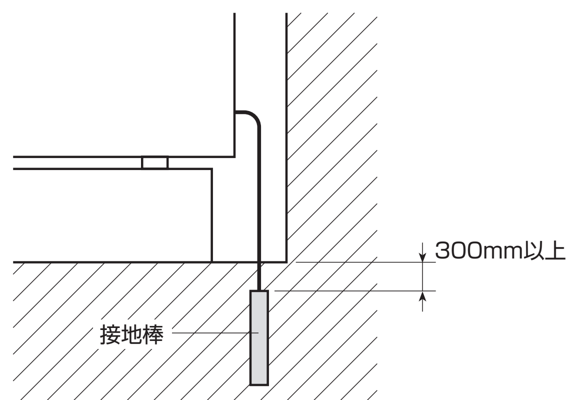
- 200Vを使用すると、基板の電流ヒューズが切れ使用できなくなります。無償保証できません。



寸法はキッチン高さ850mmの場合

接地棒でアースする場合

- 接地棒を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。（電気工事士の有資格者がD種〔第3種〕接地工事をするよう法令で定められています。）
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令等で禁止されています。）
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。



漏電遮断器の設置について

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電遮断器の設置が必要です。

※ 尚、主幹に漏電遮断器が設けてある場合は、漏電遮断器を設置する必要はありません。

電源回路は、食器洗い機専用回路とし、他機器のとの併用は、しないでください。

5 スペーサーの貼り付け

- ビルトイン後、本体が横方向に移動しないようにするため、同梱のスペーサーを本体の左右側面にしっかり貼り付けてください。
- 設置されている収納キャビネットの側面の高さにより、使用するスペーサーおよびその貼り付け位置が異なります。下表に従ってスペーサーを選び、正しい位置に貼り付けてください。

収納キャビネットの形状	使用するスペーサー	貼り付け位置
側板が高い 側板 天板	5mm	本体の上端に合わせる 本体の前端に合わせる スペーサー（厚さ：5mm） ※反対側にも貼る
側板が低い 側板 天板	21mm	隣接するキャビネット側板にスペーサーを貼り付ける ※反対側にも貼る 天板
		片側が加熱機器などで、キャビネットに貼り付け出来ない場合 本体の上端に合わせる 本体の前端に合わせる スペーサー（厚さ：21mm） ※反対側にも貼る

5-1 据付前の作業

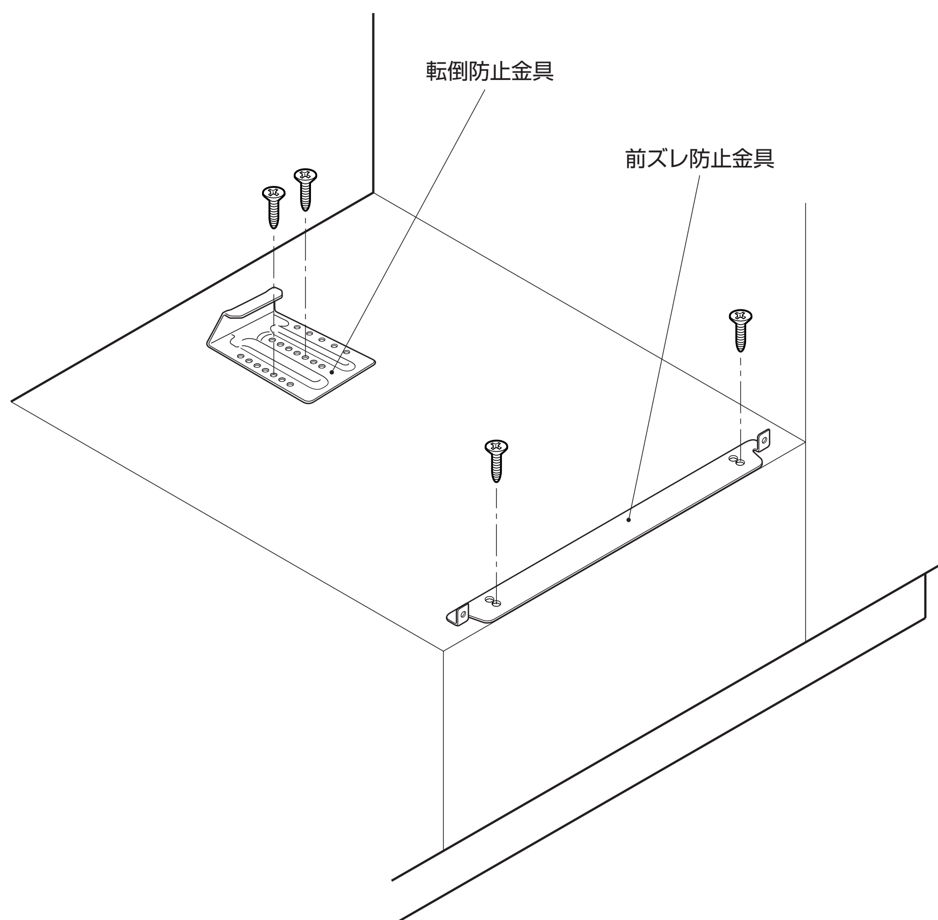
収納キャビネットの引き出しを取り外し、配管、配線が出来るようにする。
※収納キャビネット(引き出し)の外しかたは、キッチンの「取扱説明書」を参照してください。

6 据付手順

6-1 転倒防止金具、前ズレ防止金具の取り付け

● 転倒防止金具と前ズレ防止金具(同梱)を同梱の型紙を使い、この型紙に記載されている説明に従って各2本のネジ(同梱)で収納キャビネットに取り付けてください。

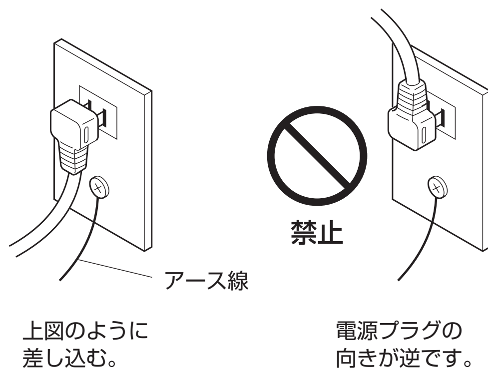
この時、電動ドライバーは使わないで手締めしてください。(ネジ山がつぶれて締まらなくなる恐れがあります。)



● 取付け用ネジ(同梱)は、木製用(ネジ先がとがっている)と、金属用(ネジ先が平ら)を各4本据付キャビネットに応じて、使いわけてください。

6-2 電源コード・アース線の接続

1 電圧が100Vであることを確認してから埋め込みコンセントに電源プラグを差し込みます。



⚠ 警告

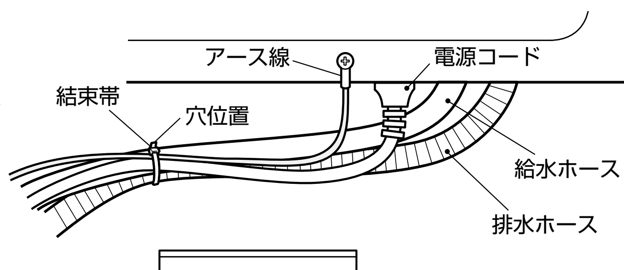
電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込んでください。



上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する恐れがあります。

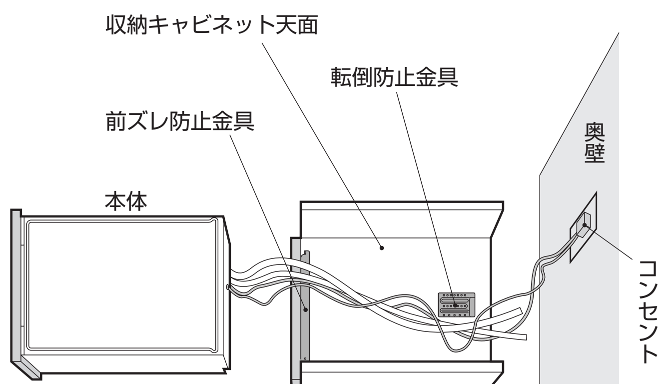
2 コード類を束ねる

※ 結束帯を穴にさし込み電源コード、アース線、給水ホース、排水ホースを付属の結束帯で束ねてください。



3 アース線をアースターミナルに接続します。

※ ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。（法令等で禁止されています。）



⚠ 警告

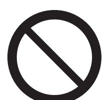
アースを確実に取り付けてください。


アース線接続

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

・ アース工事は必ず販売店に依頼してください。

⚠ 警告


禁止

電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしないでください。

感電・漏電や火災の原因となります。


禁止

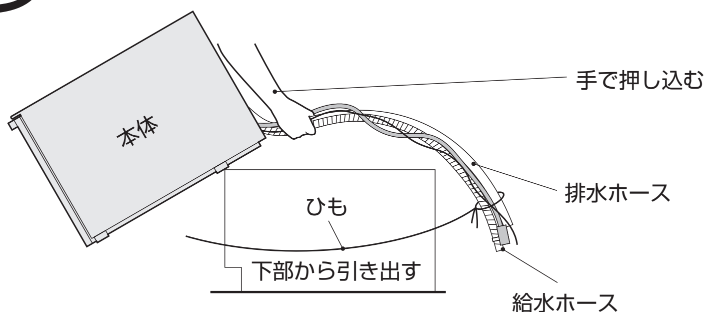
コンセントを床面に転がして、電源プラグを差し込み使用しないでください。

感電・漏電や火災の原因となります。

6-3 本体のビルトイン

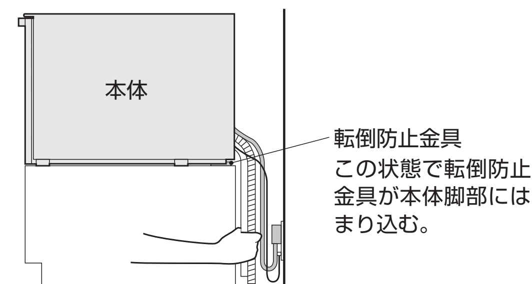
1 本体の後脚を収納キャビネットに載せ、前に傾けた状態で、給水ホースと排水ホースを下に押し込む。

※ 排水ホースの先端を切って長さを調節しないでください。

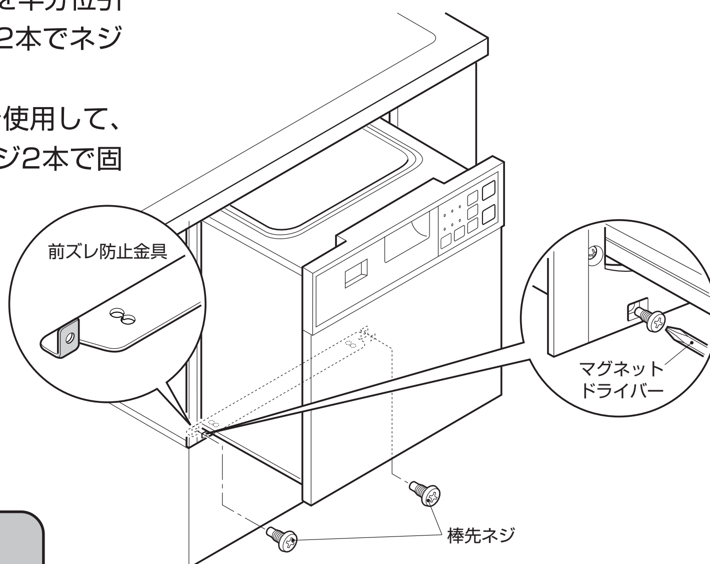


2 本体前面左右のフランジ部(樹脂製)が収納キャビネットの側板の前面木口にあたるまで、本体を押し込む。

※ 隣接する機器等に注意し、本体中央をゆっくり押してビルトインしてください。

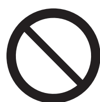


3 本体をシンク内に設置した後、引出し部を半分位引出して本体とキャビネットを棒先ネジ2本でネジ止めしてください。
(ネジ止めには**マグネットドライバー**を使用して、本体下部の左右にある角穴より棒先ネジ2本で固定します。)



⚠警告

排水ホース・給水ホース・電源コード・アース線を転倒防止金具や本体の底面や脚との間に挟み込まないでください。


禁止

感電・漏電・火災や水漏れの原因となります。

※ 本体の金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電気的に接触しないようにしてください。電気設備技術基準167条により義務づけられています。

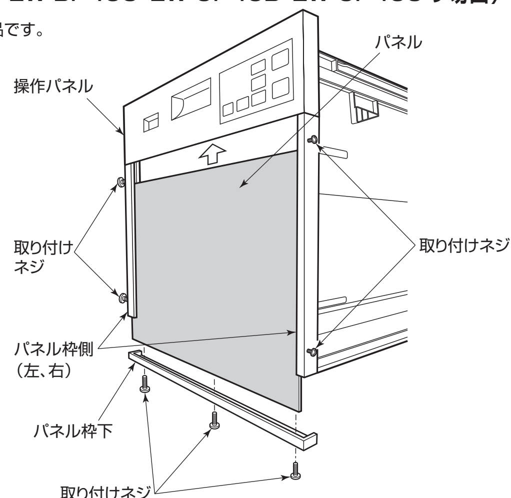
6-4 パネル(化粧板)／面材の取り付け

※ 機種形式により、パネル(化粧板)または、面材を取り付けてください。

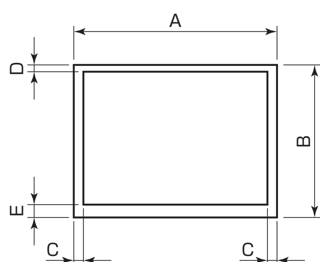
パネル(化粧板)の取り付け(EW-BP45B・EW-BP45S・EW-CP45B・EW-CP45Sの場合)

①ドアを少し引き出してください。
②パネル枠下取り付けネジ(3本)をはずしてパネル枠下をはずしてください。
③パネル枠側(左右)取り付けネジ(各2本)を緩めてください。
④パネルを操作パネルの溝に挿入してパネル枠側(左右)の取り付けネジを締め付けてください。
⑤パネル枠下を取り付けてください。
注意：電動ドライバーは使用しないでください。
　　　パネル枠(樹脂)が変形する恐れがあります。

●パネルは別売品です。



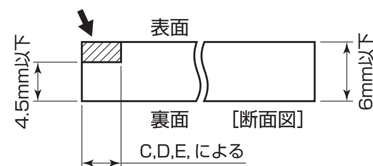
パネル(化粧板)の寸法



(単位：mm)

	寸　法
A	433±1
B	324±1
C	6.5
D	4.5
E	8.5

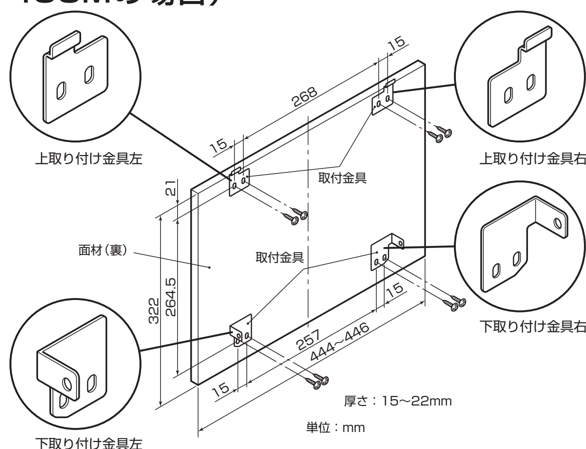
厚さ4.5mm以上6mmまでのパネルをご使用になる場合は、外周(斜線で指定した部分)の表面を、厚さ4.5mm以下になるようにけがきをし、カットしてください。



面材の取り付け(EW-BP45SM・EW-CP45SMの場合)

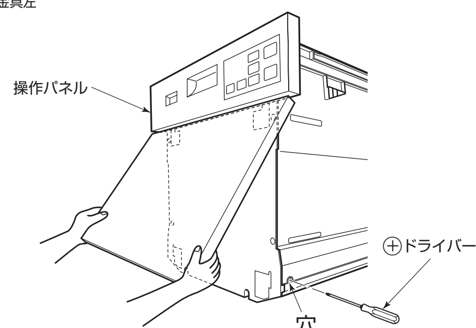
●面材は別売品です。

1 面材取り付け金具を同梱の木製用ネジ(8本)で面材の下穴に合わせて固定します。
●金具は面材の端面と平行になるように取り付けてください。
●金具に開けられた穴は長穴になっています。取り付け具合により調整を行ってください。



2 面材の上側を先に、下側を後でドアにはめ込みます。

3 ドアを少し引き出した後、面材を上に押し上げた状態で左右の穴から⊕ドライバーで面材が傾かないように締め付けます。

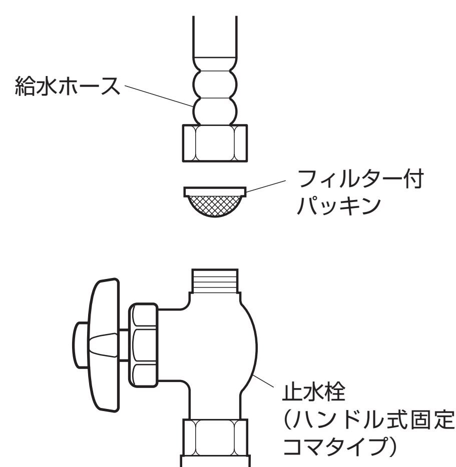


6 据付手順（続き）

6-5 給湯(給水)管との接続

止水栓(ハンドル式、固定ゴマタイプ)にフィルターを入れ給水ホースを確実に接続します。(フィルターは給水ホースにテープ止めされています。)

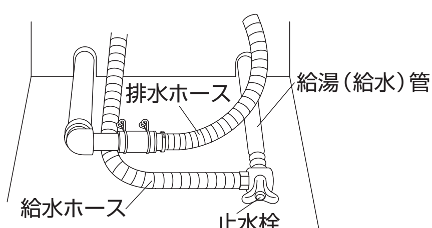
※ ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。適正締め付けトルクは5～10N･m{50～100kgf･cm}です。



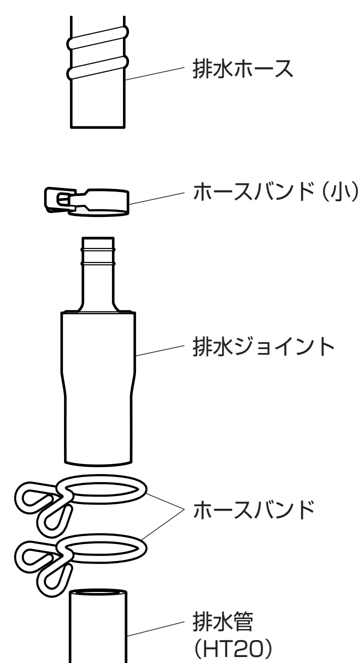
6-6 排水ホースの接続

1 排水管(HT20)に排水ジョイントを差し込み(30mm以上)、ホースバンドで止めます。

2 排水ホースは、給水ホースの上を通るようにしてください。



※ 排水ホースに折れや、ねじれが無いことを確認してください。



⚠注意

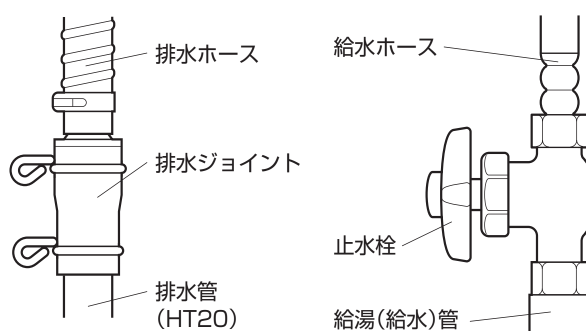
排水ホースは切断しないでください。



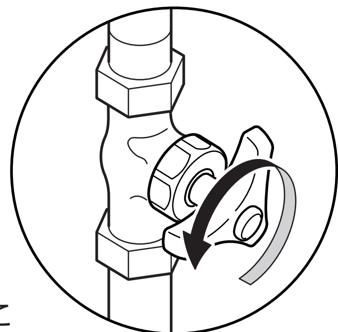
水漏れの原因となります

・排水ホースを切断した場合は、無償保証できません。

給･排水ホース接続完成図



7 試運転



- 次の順序で試運転を行なってください。
- 据付終了後直ちに試運転を、必ず実施してください。
  試運転を行わなかった場合、排水配管を通り下水ガスが食器洗い乾燥機に逆流し、においの原因や金属部品の腐食の原因になり故障の恐れがあります。
  食器洗い乾燥機本体内部の排水経路に排水トラップが設けてあり、試運転を行うことによって、排水トラップ内に洗浄水を貯め封水し、下水ガスの逆流を防止することができます。

※ 本機への通電、通水が不可状態で試運転が行なえない場合は、後に通電、通水が可能になった時に必ず試運転を行なってください。

❶ 給湯(給水)の開栓を確認し止水栓を開いてください。

BP45

❷ ドアを閉める

❸ 「電源スイッチ」を押す

❹ 「標準」コースを選ぶ

❺ 「スタート/一時停止」スイッチを押す

CP45

❷ ドアを閉める

❸ 「電源スイッチ」を押す

❺ 「スタート/一時停止」スイッチを押す

❹ 「標準」コースを選ぶ

❻ 給水が開始し1分程度で、洗浄音がします。(BP45)
給水が開始し1分程度で、ミストランプが点灯し洗浄ポンプ音とカンケツ的に洗浄音がします。(CP45)

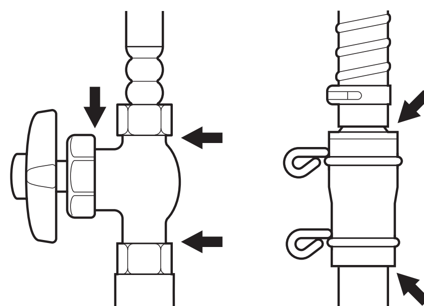
❼ **洗浄音が聞こえたら、電源スイッチを1秒長押し「切」にしてください。**
(排水ポンプが動作し機外に排水します)

7-1 確認項目

- 運転中、給・排水の接続部や止水栓、その他からの水漏れが無いことを充分確認してください。
- ドアを開け、庫内の水が排水されることを確認してください。(庫内に水が残っている場合は、排水ホースのつぶれ、ねじれが考えられます。排水ホースを点検し、不具合を直してください。)

※ **試運転後は、止水栓を開いたままにしておいてください。**

水漏れ確認



7 試運転（続き）

7-2 異常報知について

● 試運転でブザーが鳴り続け、以下のように表示部が点滅してる場合は、以下の内容を確認してください。

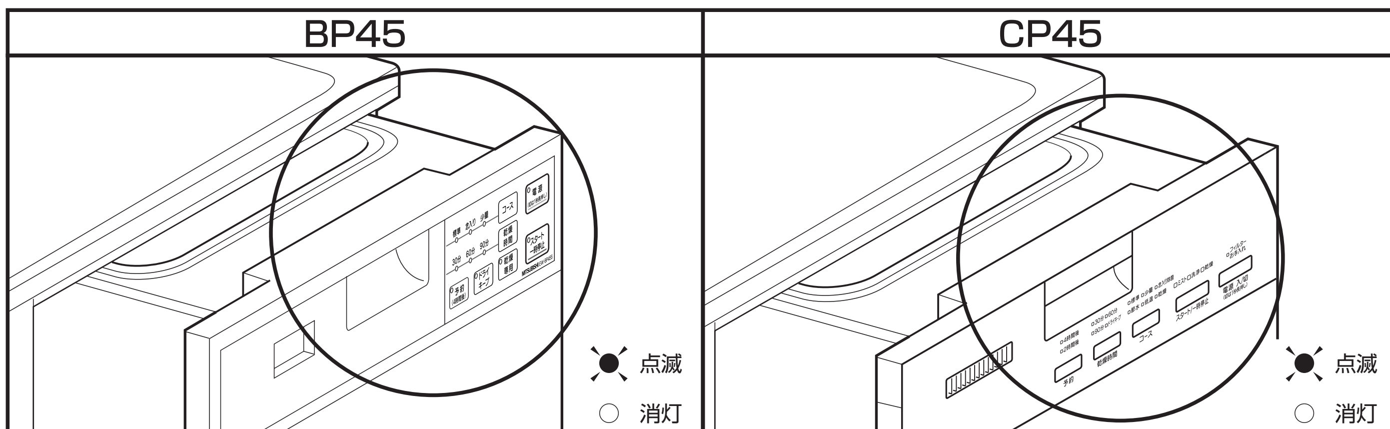


表　示	原　因	処　置
BP45 標準 念入り 少量 コース 電源（切は1秒長押し） 30分 60分 90分 乾燥時間 予約（4時間後） ドライキープ 乾燥専用 スタート一時停止 CP45 30分 60分 90分 ドライキープ 標準 少量 念入り除菌 節水 低温 乾燥 乾燥時間 コース	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。	● 電源スイッチを「切」にする。 ● 断水の場合は断水の回復を待って運転する。 ● 水道栓（元栓および収納キャビネット内の止水栓）は必ず開栓する。

● 上記の処置後、再度運転を行なってください。

● 上記以外の表示が出た場合は、取扱説明書のP28を参照ください。

7-3 試運転後の作業

8ページ「据付前の作業」で外した収納キャビネットの引き出しおよび点検口のフタ等を元の状態になるよう取り付けてください。

8 据付後の点検（チェックリスト）

	点検	点検内容	チェック
機器及びその周辺	ドアの開閉	他の機器への障害はありませんか。	
	転倒防止金具 前ズレ防止金具	転倒防止金具及び前ズレ防止金具は取り付けましたか。	
給湯（給水）・排水接続	給湯機との接続の場合	指定する給湯機に接続されていますか。（設定温度60℃以下）	
	フィルター	給水ホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。	
	排水ホース	配水管との接続部と確実に接続したことを確認しましたか。 また、押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	
電気接続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグ125V　15A以上の アースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。	
		アース線を接続しましたか。	
試運転		試運転を行い、正常に動作しましたか。	
試運転後		止水栓は、開けたままになっていますか。	

9 お客様への取り扱い説明

●取扱説明書によって製品の取り扱いを説明してください。

●保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

●この説明書は据付終了後、お客様へ必ずお渡しください。

※止水栓は、必ず開いた状態でお渡しください。

※電源（ブレーカー）は、「入」の状態でお渡しください。

※引き渡しまでは、水道水の元栓を開にしないでください。

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295 埼玉県深谷市小前田1728-1